

# 令和3年度

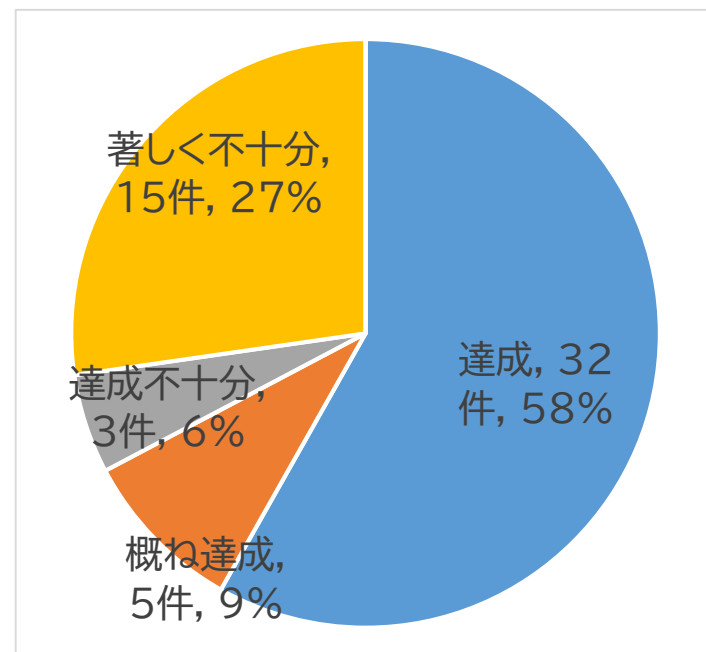
## 地方創生推進交付金/拠点整備交付金 事業実施結果報告

地方版総合戦略に基づく地方公共団体の自主的・主体的で先導的な取組を、内閣府が地方創生推進交付金／拠点整備交付金により支援(負担率1/2)している。

事業はKPIの設定とPDCAサイクルを組み込むことにより、効果的かつ効率的に執行することとなっている。令和3年度に実施した事業の実施結果は以下のとおり。

### ■分野毎の事業数/指標数と評価指標達成状況

分野	事業数	指標数	達成 (実績/目標が 100%以上)	概ね 達成 (実績/目標が 100%未満70% 以上)	達成 不十分 (実績/目標が 70%未満50% 以上)	著しく 不十分 (実績/目標が 50%未満)
①しごと 創生	13	39	20	4	2	13
②地方へ の人の 流れ	3	8	6	1	1	0
③働き方 改革	2	5	4	0	0	1
④まち づくり	1	3	2	0	0	1
合計	19	55	32	5	3	15



評価指標の達成状況  
(全55指標)

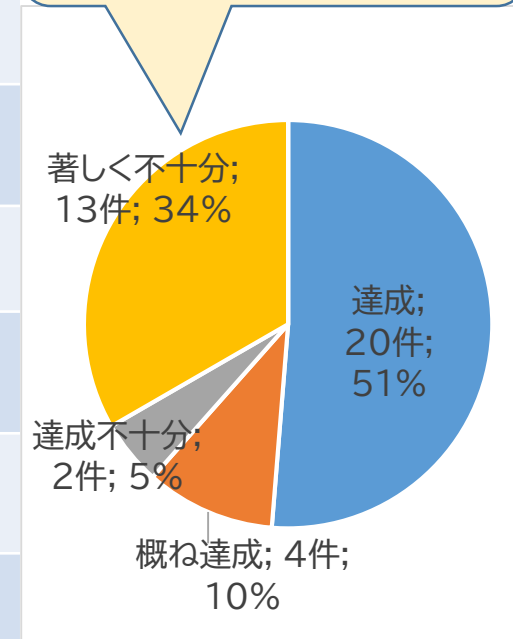
# 事業実施結果①しごと創生(総合戦略基本目標Ⅱへ寄与)

## 1. 事業概要と評価指標達成状況

※注意: 評価指標は計画策定時の基準値からの差分(増減値)を記載

事業名	事業概要	主な評価指標(基準値に対する増減)
おおいたの未来を牽引する事業者育成体制整備事業	ビジネス開始初期から発展、事業承継まで多様な成長フェーズに応じた支援を行った。	経営革新計画終了企業の雇用増加数(人) 目標138⇒実績139
農林水産業サプライチェーン最適化推進事業	担い手の確保・育成から生産体制の確立、マーケットインの商品づくり、国内外の流通対策といった各事業を連携して実施した。	農林水産物産出額(億円) 目標140⇒実績▲41
スペースポートを核とした経済循環創出事業	スペースポートの実現および経済循環の仕組み作りのため、衛星データを活用した事業の創出支援等を行った。	衛星データを活用したプロジェクト創出件数(件) 目標2⇒実績4
大分県版第4次産業革命(OITA4.0)推進事業	IoTやドローンなどを活用した先駆的な取組の促進を行った。	プロジェクト事業化件数(件) 目標66⇒実績74
おんせん県おおいた県域版DMOを核とした観光振興事業	(公社)ツーリズムおおいたの県域版DMOとしての機能強化や国内・海外客への情報発信等を行った。	県内延べ宿泊者数(千人泊) 目標738⇒実績▲2,691
戦略魚種生産性向上実証支援事業	クロマグロやブリ、ヒラメの安定した養殖体制の確立に向けた実証実験等を行った。	新技術による養殖マグロ・ブリ類・ヒラメ生産量(トン) 目標335⇒実績163
生産性向上・多様な人材確保推進事業	各産業における生産性向上や人材確保のための取組を支援した。	若年新規求職者の内の就職者数(人) 目標2,100⇒実績2,064
第一次産業の魅力向上対策事業	本県の地域特性を活かした農林水産業を魅力ある成長産業とするための支援を行った。	農業産出額(億円) 目標115⇒実績33
遠隔操作ロボット「アバター」の社会実装・産業創出プロジェクト	「アバター」の社会実装による地域課題の解決及び本県の経済を牽引する新たな産業の育成を行った。	アバターの社会実装件数(件) 目標4⇒実績7

【著しく不十分な主な理由】  
・新型コロナウイルスによる観光客数の減少や企業の採用活動への影響



評価指標の達成状況  
(全39指標)

次ページへ続く

# 事業実施結果①しごと創生(総合戦略基本目標Ⅱへ寄与)

## 1. 事業概要と評価指標達成状況

※注意: 評価指標は計画策定時の基準値からの差分(増減値)を記載

事業名	事業概要	主な評価指標(基準値に対する増減)
新たな人の流れを創出するホーパークラフトを核とした交通・周遊拠点整備事業(R3年度ハード事業)	空港～県中心部をつなぐホーパークラフトを導入するため、ターミナルを令和3年から令和5年にかけて整備する。	大分空港利用者数(人) 目標434,000⇒実績336,091
クリエイティブ産業創出拠点整備計画(H29年度ハード事業)	将来のクリエイティブ人材の育成を図るため、県立芸術文化短期大学の産学官連携共同研究棟(芸術デザイン棟)を整備した。	芸術関係地場企業への就職者数(人) 目標30⇒実績▲9
先端技術イノベーション拠点整備計画(H29年度ハード事業)	ドローン等の先端産業育成のため、県産業科学技術センターに、「先端技術イノベーションラボDs-Labo」を整備した。	県内で製造するドローンの売上(億円) 目標36⇒実績6.96
水産研究施設2拠点化による県内水産業の疾病対策強化計画(H30年度ハード事業)	水産研究施設を県南、県北の2拠点化し、生産現場で発生する疾病診断を迅速に行える施設を整備した。	クルマエビ、カキ類等養殖業の生産額の向上(百万円) 目標105.9⇒実績▲374.52

## 2. 政策を取り巻く社会経済情勢・今後の方針

IoT、AI、ロボット、ドローン等の先端技術の普及や少子高齢化・人口減少による国内需要の変容、消費者ニーズの変化、多様な生き方や働き方の価値観の広がり、さらには新型コロナウイルス感染症の影響やデジタル化の進展などにより、中小企業・小規模事業者を取り巻く経営環境は大きく変化している。引き続き、事業者に寄り添った伴走型支援や関係機関との連携を促進し、事業者をサポートしていく必要がある。

大分県版第4次産業革命“OITA4.0.”を引き続き推進するとともに、宇宙港実現への取り組みと併せ、宇宙ビジネス人材を育成するための講座の実施や県内外の宇宙関連企業のプラットフォーム構築を通じて、県外企業とのマッチングや、県内事業者により、宇宙ビジネスが創出されることを目指す必要がある。

観光分野においては、近年頻発する自然災害や新型コロナウイルスの流行により観光産業の冷え込みが続いている。このような中、コロナ収束後を見据えて、本県の魅力を継続して発信していくほか、特定国に依存しない誘客を進めるため、東アジアをはじめ、ASEAN諸国や欧米・大洋州等からの観光誘客の推進や多様化する旅行ニーズに対応し、ターゲットを絞った観光メニューの開発等が求められている。

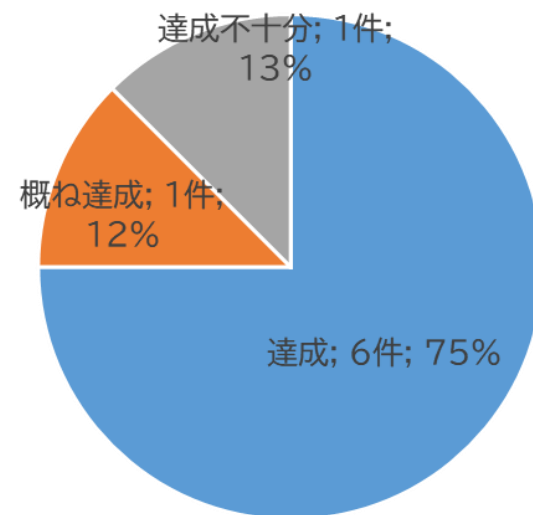
農林水産業においては、マーケットインの商品づくりに取り組み、県オリジナルいちご「ベリーツ」や「おおいた和牛」、「うまみだけ」、「かぼすぶり」などのブランド産品を育成・推進してきた。これらの取組により、R3年の農業産出額は、1,228億円(前年から20億円の増)と2年連続の増加となった。農業では、農業総合戦略会議でとりまとめた「行動宣言」に基づき、生産者、農業団体、市町村による一体となった取り組みをしっかりと後押しするため、短期集中県域支援品目(ねぎ、ピーマン、高糖度かんしょ、ベリーツ)の生産拡大、担い手育成から営農指導、流通・販売強化、農協改革まで総合的な対策を講じる。

# 事業実施結果 ②地方への人の流れ(総合戦略基本目標Ⅰ,Ⅲへ寄与)

## 1. 事業概要と評価指標達成状況

※注意: 評価指標は計画策定時の基準値からの差分(増減値)を記載

事業名	事業概要	主な評価指標 (基準値に対する増減)
プロフェッショナル人材活用深化・高度化事業	高度なスキルを持つ外部人材と県内企業のマッチングを関係機関と連携して行い、人材確保を支援した。	県内企業の経営課題に関する相談件数(件) 目標120⇒実績191
移住者によるデジタル地域づくりショーケース化推進事業	移住者のデジタルスキル習得講座を実施するとともに、移住者にとって魅力的なデジタル関連の働き口を増加させる取組を行う。	デジタルスキルアップ講座の修了生で県内へ移住した人の数(人) 目標20⇒実績39
大分拠点施設(福岡市中心部)整備による福岡県在住若年者に対するUIJターン対策強化計画(R1年度ハード事業)	大分県出身の学生等へ県内企業の魅力を発信するために福岡市に「dot.」を整備し、若者の大分県内就職イベント等を行った。	福岡県内大学等から拠点を通じて県内へ就職した人数(人) 目標50⇒実績37



## 2. 政策を取り巻く社会経済情勢・今後の方針

IT分野におけるスキル習得から移住・就職までのワンストップ支援などにより、R3年度の移住支援策による移住者数は1,821人と過去最高となった。

引き続き、県外からの就職による移住を促進するため、情報発信や就職支援等を行うアドバイザーを配置するとともに、資格取得に向けた支援を行うなど、さらなるUIJターンの促進のための取り組みの強化が必要である。

また、コロナ禍を契機としたリモートワークの普及拡大などの新しい生活様式の広がりや、人々が都市から地方に目を向けるきっかけとなっており、この動きをUIJターンに結びつけることが重要である。オフィス系企業やサテライトオフィスの誘致、地域の情報通信格差の是正やコワーキングスペースの確保など、移住の受け皿となる仕事づくりや環境整備に加え、移住者が地域で安心して暮らせる環境づくりのため、地域の決まり事の見える化や移住者と地域住民の交流会等の活動を行う移住支援団体の立ち上げに取り組む必要がある。

# 事業実施結果 ③働き方改革 (総合戦略基本目標 I へ寄与)

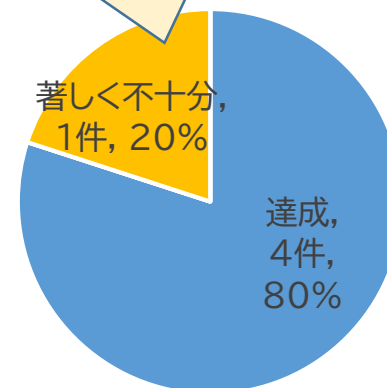
## 1. 事業概要と評価指標達成状況

※注意: 評価指標は計画策定時の基準値からの差分(増減値)を記載

事業名	事業概要	主な評価指標 (基準値に対する増減)
若者が安心して働ける環境づくり推進事業	若年層流出対策のため、福岡県からの若者のUJターンの促進や高校生に対する県内就職対策、外国人労働者受入対策等の支援を行った。	県内企業就職内定者数(人) 目標200⇒実績▲463
女性が輝く働き方改革実現事業	固定的性別役割分担意識の変革及び女性の継続就労が可能となる働き方を実現するために、女性が存分に活躍できる環境づくりの支援を行った。	県の施策による女性の年間新規就業者数(人) 目標600⇒実績726

【著しく不十分な主な理由】

- ・新型コロナによる先行き不透明な経済情勢への懸念から、県内の民間就職希望者が減少



評価指標の達成状況 (全5指標)

## 2. 政策を取り巻く社会経済情勢・今後の方針

人口減少が進展する中、貴重な労働力を生かし、企業と社会が持続的に成長するためには、長時間労働の是正や年次有給休暇の取得促進、子育て・介護等と仕事の両立のための男性の育児休業等の取得促進のほか、テレワークなど柔軟な働き方の導入などによる「働き方改革」の取り組みを加速させる必要がある。就職支援については、UJターン就職希望者に対するきめ細かい支援に努めるとともに、県内出身の20代までの若者に対して「オオイタカテ！メンバー登録制度」等による情報発信や福岡市中心部に設置した大分県拠点施設「dot.」において、県内企業の情報発信を行うイベント等を実施し、若年者の県内就職を促進する必要がある。

また、地方創生の道筋を確かなものとするには、男女がともに責任を分かち合い、その個性と能力を十分に発揮できる社会とする必要がある。女性の就業率は全体的に上昇しているものの、全国で第1子出産を機に約半数が退職するほか、介護や看護で離職、転職する人が毎年約10万人に上り、その約8割が女性であるなど、出産、子育て、介護等を理由に就業を中断する女性が依然として多い状況にある。その要因として、「男は仕事、女は家庭」という固定的性別役割分担意識や無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)が根強く存在していることから、その解消に引き続き努めるほか、女性の継続就労が可能となる働き方の導入や、働きやすい職場環境の整備に加え、スキルアップを希望する女性への支援も求められている。

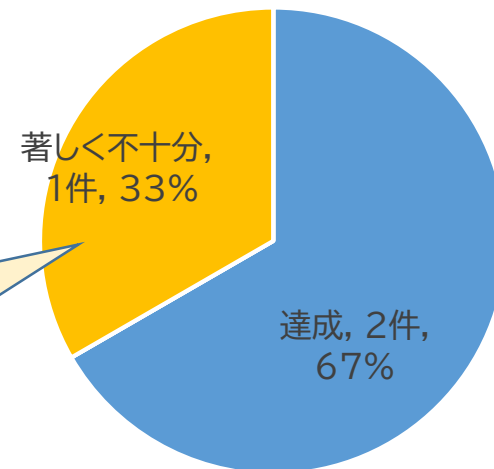
新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、多くの非正規雇用の女性が失業した。また、科学技術・学術分野における研究職・技術職に占める女性の割合は増加傾向にあるものの、日本は16.6%と諸外国と比較して、低水準にとどまっている。技術や技能を持った女性人材を育成し、安定的な雇用につなげるとともに、次世代を担う女性の科学技術人材を育成していくため、女子中高生が科学技術に興味・関心を持つような機会を増やし、生徒のみならず、保護者や教員等に対し、理工系選択のメリットに関する意識啓発、理工系分野の仕事内容、働き方及び理工系出身者のキャリアに関する理解を促すなど、キャリア教育の推進を図る必要がある。

# 事業実施結果 ④まちづくり(総合戦略基本目標Ⅱ、Ⅲへ寄与)

## 1. 事業概要と評価指標達成状況

※注意: 評価指標は計画策定時の基準値からの差分(増減値)を記載

事業名	事業概要	主な評価指標(基準値に対する増減)
スポーツと芸術文化を活用した地域活性化事業	交流人口の拡大や地域活性化を狙い、スポーツと芸術文化の活動を支援した。	スポーツ合宿等受入人数(人) 目標13,000⇒実績▲32,383



【著しく不十分な主な理由】  
・新型コロナによるスポーツ合宿の中止

評価指標の達成状況  
(全3指標)

## 2. 政策を取り巻く社会経済情勢・今後の方針

県民誰もが質の高い多彩な芸術文化に触れる機会を確保するとともに、主体となって芸術文化活動に取り組むことのできる環境整備の充実が求められるが、コロナ禍により、特に芸術文化に触れる機会が著しく減っていることから、デジタル手法の活用などが必要である。芸術文化ゾーンを中心として、芸術文化関係団体をはじめ、教育・産業・福祉・医療など様々な分野の団体等と連携し、芸術文化振興を図っていく必要がある。

本県における成人のスポーツ実施率は50%となっており、特に働きざかり世代の30代では全国平均を10%以上下回る状況にある。健康寿命日本一の実現に向けて、県民が心身の健康の保持・増進を図り、健康で活力に満ちた生活を送ることができるよう、ライフステージに応じたスポーツを推進する必要がある。県内のプロスポーツチームやスポーツイベントなどの地域資源を活用し、県民のスポーツへの関心拡大とスポーツに親しむ機運の醸成、スポーツ参画人口の拡大を図る必要がある。

# 補足 評価指標一覧 ①しごと創生(1/2)

(目標値と実績値は計画策定時の基準値に対する増減)

事業名	評価指標	単位	目標値	実績値	実/目	達成状況
おおいたの未来を牽引する事業者育成体制整備事業	経営革新計画終了企業の雇用増加数	人	138	139	101%	達成
	事業承継相談対応件数	件	50	53	106%	達成
	デザイン経営個別相談会の参加者	人	180	194	108%	達成
農林水産業サプライチェーン最適化推進事業	農林水産物産出額	億円	140	-41	-29%	著しく不十分
	経営継承の推進件数	件	200	252	126%	達成
	集落営農組織カバー集落数	集落	20	108	540%	達成
スペースポートを核とした経済循環創出事業	衛星データを活用したプロジェクト創出件数	件	2	4	200%	達成
	宇宙データ活用に係るセミナー等参加者数	人	100	266	266%	達成
大分県版第4次産業革命「OITA4.0」関連事業	プロジェクト事業化件数	件	66	74	112%	達成
	IoT事業マッチング件数	件	67	106	158%	達成
	県内ドローン製造・サービス売上	億円	36	26.2	72%	概ね達成
	高度な産業人材(機器計測、IoT、ドローン関連技術者)及び新産業分野での人材確保	人	72	87	121%	達成
おんせん県おおいた県域版DMOを核とした観光振興事業	県内延べ宿泊者数	千人	738	-2,691	-365%	著しく不十分
	県内観光入込客数	千人	6,902	-6,034	-87%	著しく不十分
	県内外国人延べ宿泊者数	千人	188	-1,417	-754%	著しく不十分
	県内観光消費額	億円	439	-777	-177%	著しく不十分
戦略魚種生産性向上実証支援事業	本事業で実施する新技術を活用した養殖マグロ・ブリ類(シマアジ、マダイ含む)・ヒラメ・養殖カキ生産量(各魚貝種累計)	トン	335	163	49%	著しく不十分
	新技術を活用した水産養殖経営体数	戸	24	15	63%	達成不十分
生産性向上・多様な人材確保推進事業	本事業を通じた若年求職者(新規登録)の内の就職者数	人	2,100	2,064	98%	概ね達成
	本事業を通じたHACCP導入事業者数	事業者	27,000	22,451	83%	概ね達成
	本事業を通じた新規採用バス乗務員数	人	21	96	457%	達成
	本事業を通じた外国人労働者(専門的・技術的分野)の増加人数	人	500	268	54%	達成不十分

# 補足 評価指標一覧 ①しごと創生(2/2)

(目標値と実績値は計画策定時の基準値に対する増減)

事業名	評価指標	単位	目標値	実績値	実/目	達成状況
第一次産業の魅力向上対策事業	農業産出額	億円	115	33.0	29%	著しく不十分
	「ベリーツ」(いちご)販売量の増量	トン	100	101	101%	達成
	畜産インターンシップ参加累計人数	人	10	17	170%	達成
遠隔操作ロボット「アバター」の社会実装・産業創出プロジェクト	アバターの社会実装件数	件	4	7	175%	達成
	アバターを活用した教育活動実施学校数	校	12	34	283%	達成
	アバター産業創出塾への参加企業数	社	20	42	210%	達成
	県内企業によるアバター関連実証事業実施件数	件	12	25	208%	達成
新たな人の流れを創出するホーパークラフトを核とした交通・周遊拠点整備事業(R3年度ハード事業)	大分空港利用者数	人	434,000	336,091	77%	概ね達成
	県内観光消費額	億円	44	-126	-286%	著しく不十分
クリエイティブ産業創出拠点整備計画(H29年度ハード事業)	芸術関係地場企業への就職者数	人	30	-9	-30%	著しく不十分
	商品(デザイン)開発数	件	20	8	40%	著しく不十分
	地場企業へのインターンシップ数	人	100	8	8%	著しく不十分
先端技術イノベーション拠点整備計画(H29年度ハード事業)	県内で製造するドローンの売上	億円	36	6.96	19%	著しく不十分
	電磁応用機器開発関係「加工・組立」受注額及び県内企業の「製品」売上げ	億円	8	26.7	352%	達成
	高度な産業人材(磁気計測、IoT、ドローン関連技術者)及び新産業分野での人材確保	人	72	82	114%	達成
水産研究施設2拠点化による県内水産業の疾病対策強化計画(H30年度ハード事業)	疾病対策の強化によるクルマエビ養殖業、カキ類養殖業、内水面漁業、内水面養殖業の生産額の上向	百万円	106	-374.5	-354%	著しく不十分
	干潟養殖カキの出荷個数	千個	30	161.5	538%	達成



# 補足 評価指標一覧 ②地方への人の流れ

(目標値と実績値は計画策定時の  
基準値に対する増減)

事業名	評価指標	単位	目標値	実績値	実/目	達成状況
プロフェッショナル人材活用深化・高度化事業	県内企業の経営課題に関する相談件数(累計)	件	120	191	159%	達成
	地域経済牽引事業に係る大分県基本計画に基づき事業計画の承認を得た企業への巡回支援件数(累計)	件	20	39	195%	達成
	県内企業に対する副業・兼業を含めた人材マッチング件数(累計)	件	40	86	215%	達成
移住者によるデジタル地域づくり ショーケース化推進事業	デジタルスキルアップ講座の修了生で県内へ移住した人の数	人	20	39	195%	達成
	本事業によりデジタル化した事業数	件	4	4	100%	達成
大分拠点施設(福岡市中心部)整備による福岡県在住若年者に対するUIJターン対策強化計画(R1年度ハード事業)	福岡県内大学等から大分拠点施設(カフェスペース)を通じて大分県内へ就職した人数	人	50	37	74%	概ね達成
	大分拠点施設(カフェスペース)の利用人数	人	3,600	51,482	1430%	達成
	大分拠点施設(カフェスペース)における就職セミナー開催件数	件	360	241	67%	達成不十分

# 補足 評価指標一覧 ③働き方改革

(目標値と実績値は計画策定時の基準値に対する増減)

事業名	評価指標	単位	目標値	実績値	実/目	達成状況
若者が安心して働ける環境づくり推進事業	県内企業就職内定者数	人	200	-463	-232%	著しく不十分
	福岡県内大学新卒県出身者の県内就職者数	人	10	32	320%	達成
女性が輝く働き方改革実現事業	県の施策による女性の年間新規就業者数	人	600	726	121%	達成
	大分県女性農業経営士認定者数	人	30	30	100%	達成
	おおいた子育て応援団「しごと子育てサポート企業」認証企業数	社	140	201	144%	達成

# 補足 評価指標一覧 ④まちづくり

(目標値と実績値は計画策定時の基準値に対する増減)

事業名	評価指標	単位	目標値	実績値	実/目	達成状況
スポーツと芸術文化を活用した地域活性化事業	スポーツ合宿等受入人数	人	13,000	-32,383	-249%	著しく不十分
	カルチャーツーリズム等参加人数	人	100	1,235	1235%	達成
	パラスポーツイベント参加者数	人	2,150	5,344	249%	達成